

# 第1 総務に関する事項

## 1. 構成員の現況

平成28年4月1日現在の構成員数

区 分	平成27年4月1日	平成28年4月1日
評 議 員	計 15 人	計 15 人
役 員	理 事 長 1人 専務理事 1人 理 事 12人 監 事 3人 計17人	理 事 長 1人 専務理事 1人 理 事 12人 監 事 3人 計17人
会 員	137市町村	137市町村
賛助会員	2法人	2法人
関係都道府県	27都道府県	27都道府県

## 2. 役員・評議員の異動

日 付	役職名	事由	氏 名	職 名	備 考
H28. 6. 23	理 事	退任	財部 能成	前長崎県対馬市長	定時評議員会
	理 事	就任	野口市太郎	長崎県五島市長	〃
	監 事	退任	野口市太郎	長崎県五島市長	〃
	監 事	就任	比田勝尚喜	長崎県対馬市長	〃
H28. 11. 15	評議員	退任	大口 秀和	前三重県志摩市長	第1回臨時評議員会
	評議員	就任	竹内 千尋	三重県志摩市長	〃
	理 事	退任	上村 俊之	前愛媛県上島町長	〃
	理 事	就任	宮脇 馨	愛媛県上島町長	〃
H29. 2. 1	評議員	退任	田中 達美	前広島県江田島市長	
	評議員	退任	堀江 隆臣	熊本県上天草市長	
H29. 3. 3	評議員	退任	松田 和久	前島根県隠岐の島町長	第2回臨時評議員会
	評議員	就任	平木 伴佳	島根県知夫村長	〃
	理 事	退任	中田 勝久	前兵庫県南あわじ市長	〃
	理 事	就任	守本 憲弘	兵庫県南あわじ市長	〃

## 3. 職員の異動

日 付	職 名	氏 名	備 考
H28. 4. 1	事務局長	仲田 成徳	昇任（調査研究部長兼務）
	調査役	二藤 安功	昇任（総務部長兼務）
	広報係	佐伯 直樹	採用
	研究員	村山 陽介	鳥羽市企画財政課係長兼務
H29. 3. 31	研究員	村山 陽介	鳥羽市企画財政課係長へ帰任

## 第2 会議に関する事項

### 1. 評議員会

#### <定時評議員会>

- (1) 日 時：平成28年6月23日（木）14時
  - (2) 場 所：東京都千代田区「全国町村会館ホールB」
  - (3) 出席者：評議員9名 理事長1名 専務理事1名 監事1名
  - (4) 経 過
    - ①開会
    - ②理事長挨拶 白川博一理事長
    - ③議長の選出 名越修鹿児島県南種子町長を選任
    - ④議事録署名人 名越修鹿児島県南種子町長、田中達美広島県江田島市長
    - ⑤議案審議 第1号議案 平成27年度事業報告及び附属明細書について  
第2号議案 平成27年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）  
及び附属明細書並びに財産目録について  
第3号議案 役員の選任について
- ※上記議案はいずれも原案通り承認。

#### <第1回臨時評議員会>

- (1) 日 時：平成28年11月15日（火）15時
  - (2) 場 所：東京都千代田区「砂防会館別館穂高」
  - (3) 出席者：評議員9名 理事長1名 専務理事1名 監事2名
  - (4) 経 過
    - ①開会
    - ②理事長挨拶 白川博一理事長
    - ③議長の選出 田中隆一長崎県西海市長を選任
    - ④議事録署名人 田中隆一長崎県西海市長、本保健男新潟県粟島浦村長
    - ⑤議案審議 第1号議案 平成28年度収支補正予算について  
第2号議案 評議員及び理事の選任について
- ※上記議案はいずれも原案通り承認。

#### <第2回臨時評議員会（みなし決議）>

- (1) 日 時：平成29年3月3日（金）（決議があったものとみなされた日）
  - (2) 議 案：第1号議案 平成28年度収支補正予算について  
第2号議案 平成29年度事業計画について  
第3号議案 平成29年度収支予算について  
第4号議案 評議員の選任について  
第5号議案 理事の選任について
- ※上記議案はいずれも原案通り承認。

### 2. 理事会

#### <第1回理事会>

- (1) 日 時：平成28年6月2日（木）14時
- (2) 場 所：東京都千代田区「全国町村会館第1会議室」
- (3) 出席者：理事11名 監事3名

(4) 経 過

①開会

②理事長挨拶 白川博一理事長

③職務執行状況の報告について

④議事録署名人（出席監事） 浜川謙夫監事、野口市太郎監事、川添健監事

⑤議案審議 第1号議案 平成27年度事業報告及び附属明細書について

第2号議案 平成27年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び  
附属明細書並びに財産目録について

第3号議案 平成28年度定時評議員会の招集及び提出議案について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

<第2回理事会>

(1) 日 時：平成28年10月27日（木）10時

(2) 場 所：東京都千代田区「全国町村会館第1会議室」

(3) 出席者：理事12名 監事3名

(4) 経 過

①開会

②理事長挨拶 白川博一理事長

③職務執行状況の報告について

④議事録署名人（出席監事） 浜川謙夫監事、比田勝尚喜監事、川添健監事

⑤議案審議 第1号議案 平成28年度収支補正予算について

第2号議案 平成28年度第1回臨時評議員会並びに第2回臨時評議員会の招集  
及び提出議案について

第3号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

<第3回理事会>

(1) 日 時：平成29年2月16日（木）10時30分

(2) 場 所：東京都千代田区「全国町村会館第1会議室」

(3) 出席者：理事12名 監事3名

(4) 経 過

①開会

②理事長挨拶 白川博一理事長

③職務執行状況の報告について

④議事録署名人（出席監事） 浜川謙夫監事、比田勝尚喜監事、川添健監事

⑤議案審議 第1号議案 平成28年度収支補正予算について

第2号議案 平成29年度事業計画について

第3号議案 平成29年度会費賦課方法について

第4号議案 平成29年度収支予算について

第5号議案 平成28年度第2回臨時評議員会の開催変更について

※上記議案はいずれも原案通り承認。

### 3. 監 査

平成28年5月9日（月）午後4時から日本離島センター会議室において、浜川謙夫（東京都神津島村長）・野口市太郎（長崎県五島市長）・川添健（鹿児島県長島町長）各監事により平成27年度事業報告および収支決算について監査が行われ、小島専務理事、仲田調査研究部長、二藤総務部長及び高山、伊賀顧問会計士が立ち会った。

### 第3 事業に関する事項

#### 1. 研修・派遣事業

##### (1) 研 修

##### ①離島市町村等職員研修

平成28年度離島市町村等職員研修は、「市町村アカデミー」（公益財団法人全国市町村研修財団）の年度研修計画の制度運用編「地域ブランド等観光戦略の実践」クラスに、本財団が計画する離島市町村等職員を対象にしたカリキュラムを設定し、市町村アカデミーの協力を得て開催した。

今年度は、離島関係市町村、9都道県、11市町村から職員12名が参加し、活発な交流活動の推進による島おこし方策が検討された。

日 時：平成29年1月17日（火）～1月25日（水） 8泊9日

場 所：千葉県千葉市「市町村アカデミー」

主 催：公益財団法人全国市町村研修財団

テーマ：離島の特性を活かした観光地域づくり

##### ア. 参加者

都道県名	市町村名	参加者名	職 名
北海道	礼文町	今野 直樹	産業課主幹
宮城県	塩竈市	高橋 真幸	浦戸振興課主事
東京都	神津島村	高橋 基樹	産業観光課係長
新潟県	佐渡市	畠山 和義	観光振興課主任
島根県	隠岐の島町	前川 文吾	観光課副主任
香川県	高松市	古林恵里奈	地域振興課主事
佐賀県	唐津市	田口惇一朗	商工観光部観光課職員
鹿児島県	十島村	山之内容平	地域振興課主事
鹿児島県	天城町	重田 繭子	農政課主事
沖縄県	伊平屋村	名嘉 俊明	総合推進室主事
沖縄県	宮古島市	洲崎 憲昭	エコアイランド推進課主事
(公財)日本離島センター		村山 陽介	研究員

時 間 割

[制度運用篇]

クラス名：地域ブランド等観光戦略の実践

平成29年1月17日(火)～1月25日(水)

担当教授：長島 雅典

担当主査：中谷 玲子

日	午 前			午 後			
	9:00～	9:25～10:35	10:50～12:00	13:00～14:10	14:25～15:35	15:50～17:00	17:00～
1月17日 (火)				13:30～15:00 入所		15:30～入寮オリエンテーション 16:00～開講式 16:30～開講オリエンテーション	
1月18日 (水)	オリエンテーション	観光による地方創生～DMOによる観光地域経営と観光マーケティング～ (講義) 大社 充 DMO推進機構代表理事/事業構想大学院大学・客員教授			観光マーケティングと地域ブランド(講義) 立教大学観光学部教授・ 東 徹 観光研究所長		演習(討議)
1月19日 (木)	地域ブランドの課題と展望(講義) (株)ブランド総合研究所 田中 章雄 代表取締役社長			事例紹介(レクチャー&フォーラム) 村上 健太郎※注1	演習(討議) 長島教授		演習(討議)
1月20日 (金)	地域観光資源の発見と活用、そして実践に向けて(講義・演習) 大下 茂 帝京大学経済学部観光経営学科長・教授					演習(討議) 長島教授	
1月21日 (土)							
1月22日 (日)							
1月23日 (月)	インバウンドの今後の展望 (講義) 相澤 美穂子※注2		事例紹介(レクチャー&フォーラム) 渡辺 正範※注3		地域情報発信とメディア活用戦略～観光戦略への応用のために～(講義) 河井 孝仁 東海大学文学部広報メディア学科教授		演習(討議) 長島教授
1月24日 (火)	演習(討議) 長島教授		レポート作成 長島教授		データを活用した観光マーケティング計画づくり(発表・講評) 大社 充 DMO推進機構代表理事/事業構想大学院大学・客員教授		
1月25日 (水)	レポート作成 (～10:05) 長島教授		事例紹介(レクチャー&フォーラム) (10:20～11:30) 田上 重之※注4		修了式 11:40 ～		

※注1：村上 健太郎 高知県黒潮町 特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館理事長

※注2：相澤 美穂子 公益財団法人日本交通公社総務部企画開発課長・主任研究員

※注3：渡辺 正範 新潟県十日町市産業観光部長

※注4：田上 重之 徳島県阿南市産業部野球のまち推進監

## ②島づくり人材養成大学

本大学は、コミュニティの活性化や産業振興など地域づくりに取り組んでいる離島住民を対象とした、島づくりリーダー養成のための短期集中型講座で平成4年度から開講しているものである。25回目となる今年度は、「イキイキ島づくり！はじめの3歩！」をテーマに、ワークショップのプログラムを通じて、参加者自らが島の情報発信の目標設定や活動の立ち上げ方などを学ぶ講座を開講した。

平成28年10月12日（水）～10月15日（土）の4日間、全国9道県15市町村から27名が参加した。

### ア. 参加者

都道府県	市町村	島名	氏名	職業
北海道	羽幌町	天売島	宇佐美 彰規	ゲストハウス経営
北海道	利尻町	利尻島	八木橋 舞子	地域おこし協力隊
北海道	利尻町	利尻島	葛西 健二	利尻町観光協会職員
山形県	酒田市	飛島	松本 友哉	合同会社とびしま
新潟県	佐渡市	佐渡島	斉藤 千里	地域おこし協力隊
新潟県	粟島浦村	粟島	本保 優太	あわしま自然体験学校
三重県	鳥羽市	菅島	木下 翔平	市役所職員
三重県	鳥羽市	答志島	山本 智恵	島の旅社推進協議会
岡山県	笠岡市	北木島	田邊 翔悟	NPO 法人かさおか島づくり海社
愛媛県	上島町	弓削島	佐藤 仁美	地域おこし協力隊
愛媛県	松山市	中島	小林 剛	地域おこし協力隊
長崎県	平戸市	的山大島	小川 健太	地域おこし協力隊
長崎県	平戸市	度島	森 健司	市役所職員
長崎県	壱岐市	壱岐島	松尾 剛太	市役所職員
長崎県	壱岐市	壱岐島	三木 賢司	市役所職員
長崎県	壱岐市	壱岐島	渡辺 佳代	観光連盟職員
長崎県	五島市	久賀島	黒須 久美子	自営業
長崎県	五島市	福江島	虎谷 恭子	地域おこし協力隊
長崎県	五島市	福江島	廣瀬 麻満	社会福祉士
長崎県	新上五島町	中通島	瀬戸 美咲	地域おこし協力隊
長崎県	新上五島町	中通島	竹内 章	地域おこし協力隊
長崎県	新上五島町	中通島	竹内 紗苗	地域おこし協力隊
大分県	佐伯市	大島	濱野 圭太	市嘱託員
鹿児島県	十島村	トカラ列島	高倉 聡一郎	役場職員
鹿児島県	十島村	中之島	久木山 雄	役場職員
鹿児島県	十島村	中之島	林 裕樹	見守り支援員
鹿児島県	十島村	中之島	田中 絵梨香	農業

イ. 研修日程

第1日 10月12日(水)	15:30・全国からサンパレスホテル(福岡県福岡市)に集合 16:00・受付・開講式・ガイダンス ・島じまん&事前ワーク発表! 19:00・交流会
第2日 10月13日(木)	07:00・宿舎出発 08:00・ジェットフォイルにて壱岐へ移動 10:00・博物館到着・歓迎挨拶 10:30・事例発表① 12:00・昼食 13:00・ワークショップ① 16:00・事例発表② 17:00・ワークショップ② 18:30・交流会
第3日 10月14日(金)	08:00・宿舎出発 08:30・ワークショップ③ 12:00・島内視察 15:00・事例報告③ 16:00・ワークショップ④&⑤ 19:00・夕食
第4日 10月15日(土)	08:00・宿舎出発 08:30・発表「私の島大使」宣言・総評・修了式 12:00・昼食 14:00・壱岐から博多港へ移動

### ③離島振興実務担当者研修

「しまづくりサミット2016」の開催

「島をよくしようと行動する人たち」の力となることを目指し、離島に住み続けたい、住んでみたくなる島づくり実現のため、離島住民の悩みや苦勞、知恵とアイデアを共有することを目的に開催した。参加者は関係市町村実務担当者はじめアイランダー出展関係者に参加を呼びかけ、139名の参加を得た。

当日は、「離島の教育と医療を考える」をテーマに、島への移住者ならびに島の住民自身にとって重要な関心事である教育環境、医療環境について、離島も含め教育で地域活性化に取り組んでいる方、本土で特徴ある医療環境づくりを進めている方をお呼びして、話題提供をして頂いた後、参加者と意見交換・質疑応答を行った。

日 時：平成28年11月25日（金）12：00～15：00  
場 所：東京・池袋サンシャインシティ「文化会館」5階502ホール  
主 催：公益財団法人日本離島センター  
テーマ：離島の教育と医療を考える

プログラム	内容	講師（敬称略）
話題提供①	「教育の魅力化による地域の活性化」～海士町から全国に拡大する魅力化プロジェクト～	教育政策アドバイザー・ 総務省地域力創造アドバイザー、 株式会社 <b>Prima Pinguino</b> 代表取締役 藤岡慎二氏
話題提供②	「地域主体の医療づくりと健康まちづくり～健康寿命を10年、地域寿命を100年延ばすために～」	福井大学医学部 地域プライマリケア講座講師 （高浜町国保和田診療所/JCHO 若狭高浜病院）、 ハーバード公衆衛生大学院 客員研究員、 高浜町健康のまちづくり プロデューサー 井階友貴氏

### ④しまづくりフォーラム

離島に関する有識者や研究者、各島で地域づくりに取り組む実践者からの講演や報告などを通して、島の将来像や振興策について考え、政策提言などに資することを目的に開催。

1)日 時：平成28年9月29日（木）17：00～18：00

場 所：北海道礼文町・町民活動総合センター

テーマ：「教育の魅力化による地域の活性化」

講 師：藤岡慎二氏（株式会社Prima Pinguino代表取締役）

2)日 時：平成28年11月9日（水）18：30～20：00

場 所：東京・全国町村会館

テーマ：「ひとりひとりが宝もの——島からの旅立ち」

講 師：河田真智子氏（島旅作家／写真家）

3)日 時：平成29年2月15日（水）15：30～17：00

場 所：東京・全国町村会館

テーマ：「地域医療振興協会の活動とこれからのへき地離島医のあり方」

講師：山田隆司氏（公益社団法人地域医療振興協会副理事長・地域医療研究所長）

## （２）派遣

平成28年度は下記の研修会等へ講師を派遣した。

### 1) 「APSP セミナー」への講師派遣

日時：平成28年5月17日（火）

場所：東京都中央区（一社）ソーシャルプロダクツ普及推進協会

主催：（一社）ソーシャルプロダクツ普及推進協会

派遣講師：本財団広報・調査第二係長 森田 朋有

### 2) 「第9回粟島クリーンアップ作戦」への職員派遣

日時：平成28年6月19日（日）

場所：新潟県粟島浦村

主催：新潟県粟島浦村

派遣講師：本財団広報係 佐伯 直樹

### 3) 「総合的な学習の時間（地域の紹介をしよう）に係る研修会」への講師派遣

日時：平成28年7月11日（月）

場所：長崎県平戸市 度島中学校

主催：平戸市立度島中学校

派遣講師：海島遊民くらぶ 江崎 貴久

### 4) 講義「社会行動論（社会学入門）」への講師派遣

日時：平成28年7月11日（月）

場所：静岡県三島市 順天堂大学三島キャンパス

主催：順天堂大学保健看護学部

派遣講師：本財団広報・調査課長 三木 剛志

### 5) 講義「社会調査法」への講師派遣

日時：平成28年7月15日（金）

場所：東京都文京区 順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス

主催：順天堂大学国際教養学部

派遣講師：本財団広報・調査課長 三木 剛志

### 6) 「離島留学に係る勉強会」への講師派遣

日時：平成28年8月3日（木）～4日（木）

場所：新潟県粟島浦村

主催：新潟県粟島浦村

派遣講師：本財団総務・調査第二課長 水 昭仁

### 7) 「離島振興担当者研修会」への講師派遣

日時：平成28年8月9日（火）

場所：北海道奥尻町 奥尻島

主催：北海道離島振興協議会

派遣講師：本財団事務局長 仲田 成徳

### 8) 「第48回山口県離島青年会議 in 大島」への職員派遣

日時：平成28年8月27日（土）

場所：山口県萩市 大島

主催：山口県離島青年会議大島実行委員会

派遣講師：本財団事務局長 仲田 成徳

9) 講義「地域研究（離島）」への講師派遣

日 時：平成 28 年 10 月 1 日（土）・8 日（土）・15 日（土）・12 月 3 日（土）・17 日（土）

場 所：長崎県佐世保市 長崎県立大学

主 催：長崎県立大学

派遣講師：本財団広報・調査課長 三木 剛志

10) 「新潟県粟島訪問に係る事前学習会」への講師派遣

日 時：平成 28 年 10 月 19 日（水）

場 所：神奈川県横浜市 横浜国立大学

主 催：横浜国立大学教育人間科学部

派遣講師：本財団総務・調査係長 小澤 卓／本財団広報・調査第二係長 森田 朋有

11) 「八丈町総合教育会議」への講師・職員派遣

日 時：平成 28 年 12 月 13 日（火）～14 日（水）

場 所：東京都八丈町 八丈町役場

主 催：八丈町

派遣講師：株式会社 Prima Pinguino 代表 藤岡 慎二／本財団総務・調査係長 小澤 卓

12) 「香川県離島関係者研修会」への講師派遣

日 時：平成 29 年 3 月 3 日（金）

場 所：香川県高松市 香川県庁

主 催：香川県政策部地域活力推進課

派遣講師：本財団専務理事 小島 愛之助

## 2. 調査研究事業

### (1) 自主調査

平成28年度は以下の調査を実施した。

#### 『海外離島調査（マルタ共和国）』

##### 1) 調査実施の趣旨

諸外国の離島をはじめとした地域の現地調査やヒアリング等を通して、海外における地域づくり手法等を学び、わが国における今後の離島振興や政策提言に資するため実施した。

##### 2) 実施日程

平成28年10月17日（月）～同24日（月）の8日間

##### 3) 視察先及び主なテーマ

マルタ共和国「地中海島嶼国の地域経営に学ぶ」

地中海島嶼国であるマルタ共和国を訪問し、地勢、政治・行政、観光をはじめとした産業など島の特性を生かした地域づくりの現況や、住民生活の状況、ヨーロッパ連合の中の位置づけ、日本との関係など各分野の現地視察・ヒアリング等を実施した。

##### 4) 主なヒアリング先

- ・マルタ政府政務次官（国会議員）
- ・マルタ観光局長
- ・マルタ外務省日本担当大使
- ・バレッタ市長
- ・マルサシュロック市長
- ・ゴゾチャンネル会長（フェリー運航会社）
- ・その他、水産会社、ワイナリー等

##### 5) 参加者

白川 博一	長崎県壱岐市長
吉村 武司	岡山県備前市長
渡邊 文良	新潟県粟島浦村総務課係長
立山 茂盛	鹿児島県長島町企画財政課課長補佐
隈元 仁志	同 十島村地域振興課定住対策室長
仲田 成徳	本財団事務局長
長谷川直哉	同 調査係

### (2) 受託調査等

平成28年度は直接補助事業団体として採択され、以下の補助事業を実施した。

#### 1. 資源エネルギー庁補助事業

##### 1) 事業名

平成28年度 離島石油製品流通合理化・安定供給支援事業

##### 2) 事業実施期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日

##### 3) 補助金額

42,406,900円（間接事業費36,587,663円、管理事業費5,819,237円）

##### 4) 事業実施の趣旨

離島における石油製品の安定的かつ低廉な供給の確保を図るため、離島の石油製品の流通合理化・安定供給対策の策定を支援する事業に要する経費について補助を行った。

##### 5) 主な事業内容

ア. 間接補助事業

###### ①塩飽諸島石油製品流通合理化・安定供給支援事業

香川県丸亀市に属する塩飽諸島（本島・広島・小手島・手島・牛島）における災害時の石油製品の安定供給体制の構築に向け、丸亀市や香川県石油商業組合などが主体となった流通在庫備蓄などの検討を行った。その結果、在庫の備蓄までには至らなかったが、島内での満タン運動などに市、組合、島内SS事業者が協力して取り組むこととなった。

#### ②松山市旧中島町有人6島石油製品流通合理化・安定供給支援事業

松山市旧中島町有人6島は、島ごとに石油製品の輸送形態・頻度などが異なる。本事業において愛媛県石油商業組合、松山市、島内SS事業者、特約店、航路会社などからなる協議会を設立し、各島における流通合理化・安定供給に係る検討を実施した。結果、松山市中島支所への新品携行缶・ポリ缶の備蓄。満タン運動の公用車からの実施。愛媛県石、えひめ中央農業協同組合、愛媛県漁業協同組合連合会の3団体による情報共有の場を、次年度以降も継続して年1回以上設けることが確認された。

#### ③宇久島石油製品流通合理化・安定供給支援事業

宇久島の石油製品流通の現況を踏まえ、佐世保市、島内の石油販売店、特約店、九州商船、有識者などからなる「宇久島石油製品流通合理化・安定供給支援事業検討委員会」を立ち上げ、石油製品の流通合理化・安定供給に向けた対策の検討を行った。その結果、宇久島石油製品合理化安定供給推進検討協議会を設立し、共同購入や共同配送等答申内容の具体的な実現に向けて次年度以降も協議の継続することとなった。協議内容は、佐世保市による流通在庫方式にでの島内備蓄強化（ガソリン・灯油）の実施、通常時・緊急時などにおけるフェリー運航体制の確認、小値賀町との災害時における石油製品供給等に関する相互支援協定締結など。

#### ④十島村石油製品流通合理化・安定供給支援事業

十島村（トカラ列島）には石油製品供給拠点がなく、住民や企業等の消費者が鹿児島本土や奄美大島の石油製品販売事業者から直接石油製品を購入している。村営定期船に積載できる石油製品の量には制限があることや、台風等での悪天候による村営定期船の欠航や抜港の影響で石油製品の流通・安定供給に支障をきたしている。そこで、本事業を活用し、村における石油製品流通合理化・安定供給体制の構築を目的として、実態・問題点・課題を把握するとともに、具体的な対策を検討した。その結果、平成29年度にモデルケースとして宝島でのSSの整備を目指すことを決定。国の補助事業等を活用して十島村が給油所を整備し、指定管理者制度により島内全世帯が加入する売店組合の販売所（運営主体）に運営委託をする計画である。給油所整備・運営することにより、自分で石油製品を発注し、港まで引取りに行く手間・労力の解消でき、ポータブル給油機での給油により、必要な時に必要な量を給油・購入できる上に、危険物屋内貯蔵所での保管することで石油製品の品質を維持できる。また、個人でドラム缶により石油製品を購入しても使い切れない人、高齢者などドラム缶の荷役に対応できない人の利便性向上もつながる。

#### イ. 事務処理事業（管理事業）

間接補助事業者の公募、選定、事業の管理などを行った。

間接補助事業者の選定にあたっては、学識者、関係団体、石油製品物流事業者、行政からなる「離島石油製品流通合理化・安定供給支援事業選定委員会」を設置し、公平かつ多角的な視点で審査した。間接事業者選定後も、同委員会にて事業進捗状況を報告し、本事業が円滑かつ効果的に進行するよう意見などを伺った。

本財団職員を各間接補助事業者が開催する委員会などへ派遣し、必要に応じて助言を行うなど、事業の適切な管理に努めた。

(3) 各種コンサルテーション活動

平成28年度は、会員市町村関係者をはじめ、メディア関係者や一般国民による問い合わせ（事務所来訪または電話、FAXなど）に対し、随時対応した。また、本財団ホームページ「しましまネット」を通じての問い合わせ（98件）にも随時対応した。

相談内容としては、島づくり活動などの事例や国庫補助事業の照会、離島に係る統計の分析、島への移住定住や就労状況の情報提供などであった。

3. 資料の収集整備（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

平成28年度も、昨年に引き続き各資料の収集整備を行った。

(1) 購入図書／文献：109冊

(2) 寄贈図書／文献：196冊

(3) 購入CD・DVD：2部

(4) 寄贈CD・DVD：4部

(5) 新聞記事画像データ活用事業

本事業は、本財団が保有する離島に関する新聞記事情報（全国紙・地方紙）をよりスピーディーに、正確に情報検索し、それを活用することを目的に実施したものである。

平成28年度は、システムに179コマ新聞記事情報を入力し活用した。

#### 4.資料及び図書の作成・刊行

##### (1) 広報誌『しま』の刊行・配布

平成28年度は第246号～249号を刊行した。

規格：A5判 発行部数：各3,000部

##### ▼『しま』246号（174頁）

<グラビア>山神坐す島の里（島根県隠岐島後）

<TOPICS>離島人材育成基金助成事業に「研究助成」「活動助成」を新設

<コラム>志磨目八目／萬葉集の離島生活

<特別報告>フランス・コルシカ島現地調査報告（前篇）

コルシカ島における海運の状況と国土連続制

<短報>市営航路に新船が就航、利便性が高まる島々（三重県鳥羽市）

<特集1>有人国境離島法制定

有人国境離島法への期待／島に雇用を生み出すための有人国境離島法／【条文】有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法

<特集2>離島医療と地域づくり

【特別対談】離島の実情に即した医療施策の推進を（山田隆司氏／大久保 明氏）

<報告>鳥羽市答志島・神島における介護事情

<寄稿>「しまっちゃんぐ2016」開催／噴火災害からの復興を模索する（鹿児島県口永良部島）

<連載>写真の向こう側／島の精神文化誌（島根県隠岐島後 前篇）／宮本常一写真を読む（山形県飛島 前篇）／「しま」の原景 [最終回]／瀬戸内海の今を歩く（愛媛県生名島・佐島）

<事業>FOODEX JAPAN 2016／平成28年度全離島通常総会を新潟県佐渡市で開催

<映画評>隠岐を舞台とした人間ドラマ『渾身 KON - SHIN』

<書評>石田秀輝著『光り輝く未来が、沖永良部島にあった！』／尾畑留美子著『学校蔵の特別授業』

##### ▼『しま』247号（208頁）

<グラビア>異形の出で来たる盂蘭盆会（鹿児島県悪石島）

<TOPICS>離島活性化交付金の概要と事例紹介

<新連載>全推連会員の活動紹介

<コラム>志磨目八目／萬葉集の離島生活

<継続特集>有人国境離島法制定

有人国境離島法 施行に向けた政府の動向／海洋島嶼国家の未来を支える有人国境離島法

<特集>島の教育と地域づくり・I

【離島留学】①地島（福岡県宗像市）／②久賀島（長崎県五島市）／③下甕島（鹿児島県薩摩川内市）／④屋久島（鹿児島県屋久島町）／⑤竹島・硫黄島・黒島（鹿児島県三島村）／⑥吐噶喇列島（鹿児島県十島村）／⑦奄美大島（鹿児島県宇検村）／⑧慶留間島（沖縄県座間味村）

【離島通学】①浦戸諸島（宮城県塩竈市）／②沖島（滋賀県近江八幡市）／③野島（山口県防府市）

【資料】「離島留学」「離島通学」実施小・中学校とその概要

【遠隔教育】オンライン学習塾の活用と課題

<短報>離島航路最大の定期船「新おがさわら丸」就航（東京都小笠原村）／鉄砲鍛冶の絆をたぐり関市民オペラが初公演（鹿児島県種子島）／滞在のスタイルが多様化する粟島（新潟県粟島浦村）

<寄稿>『ひとりひとりが宝もの』を島の学校へ／新緑の式根島へ 海女を訪ねて／離島におけるソーシャルプロダクツの可能性

<特別報告>フランス・コルシカ島現地調査報告（後篇）

コルシカ島における国土連続制交付金／コルシカ島の特別税制政策とその効果

<連載>写真の向こう側／島の精神文化誌（島根県隠岐島後 後篇）／宮本常一写真を読む（山形県飛島 後篇）／瀬戸内海の今を歩く（広島県・似島）

<映画評>二二年の記録映像『五島のトラさん』

<書評>岩下明裕著『入門 国境学— 領土、主権、イデオロギー』／森川すいめい著『その島のひとたちは、ひとの話をきかない—精神科医、「自殺希少地域」に行く』

#### ▼『しま』248号（208頁）

<グラビア>閉山一五年——産業遺産の島から（長崎県池島）

<TOPICS>「しま山100選」を選定／平成29年度「離島人材育成基金助成事業」の募集を開始

<コラム>志磨目八目／萬葉集の離島生活

<短報>離島の危機管理を米国の体制に学ぶ／特産品開発に取り組む沖島小学校（滋賀県沖島）

<特集>島の教育と地域づくり・II

【提言】いま、なぜ《高校魅力化》なのか

【実施事例】①神津島（東京都神津島村）／②島後（島根県隠岐の島町）／③隠岐島前（島根県海士町ほか）／④大崎上島（広島県大崎上島町）／⑤対馬島・壱岐島・福江島／⑥与論島（鹿児島県与論町）／⑦久米島（沖縄県久米島町）

【実施予定】①奥尻島（北海道奥尻町）／②八丈島（東京都八丈町）

【資料】「離島留学」実施高等学校とその概要

<寄稿>離島振興の大先達、森國久氏の記録『地方創生に駆けた男』発刊／アイスランドとウェストマン諸島の水産業

<連載>写真の向こう側／全推連会員の活動紹介／島の精神文化誌（鹿児島県悪石島 前篇）／宮本常一写真を読む（山口県柱島群島 前篇）／瀬戸内海の今を歩く（山口県八島）

<事業>第一回「しまづくりフォーラム」開催／「しまづくりサミット2016」開催／国土交通大臣杯「第九回全国離島交流中学生野球大会」開催／「第25期 島づくり人材養成大学」開講報告

<映画評>ドキュメンタリー映画『海は燃えている—— イタリア最南端の小さな島』

<書評>石川直樹・須藤功ほか著『宮本常一と写真』／高橋大輔著『漂流の島—— 江戸時代の島島漂流民たちを追う』

#### ▼『しま』249号（194頁）

<グラビア>淡海の島に春の風（滋賀県沖島）

<TOPICS>離島税制特例措置の積極的な活用を！／日本損害保険協会消防資機材七台を全国の離島へ寄贈／列島ふるさと再生全国フォーラム

<コラム>志磨目八目／萬葉集の離島生活

<短報>壱岐の魅力を包んでラッピングバスが島内を駆ける（長崎県壱岐市）

<特集>島の教育と地域づくり・Ⅲ

【インタビュー】「教育の島」へ——多様な教育機会の提供による地域づくりを

【高等専門学校】①大崎上島（広島県大崎上島町）／②弓削島（愛媛県上島町）

【専門科高校】①大島（東京都大島町）／②島後（島根県隠岐の島町）

【通信制高校】①大飛島（岡山県笠岡市）／②御所浦島ほか（熊本県天草市）／③長島ほか（鹿児島県長島町）／④屋久島（鹿児島県屋久島町）

【レポート】通信制教育のメリットを活かして——島だからこそできる体験学習

<寄稿>「島へんろ」の可能性——「信仰」「振興」の両立と継承を目指して／漁観連携による  
漁業・観光・地域の活性化へ

<短期連載>小さな島の小さな取り組み

<連載>写真の向こう側／全推連会員の活動紹介／島の精神文化誌（鹿児島県悪石島 後篇）／  
宮本常一写真を読む（山口県柱島群島 後篇）／瀬戸内海の今を歩く（山口県情島）

<事例報告>平成28年度 離島人材育成基金助成事業事例報告

①（長崎県の山大島）②（沖縄県伊是名島）

<事業>海外離島現地調査報告 マルタ共和国（前篇）／「しまづくりキャラバン」開催／「ア  
イランダー2016」開催

<書評>ヨーゼフ・クライナー撮影写真集 『加計呂麻島 昭和37年／1962』／長崎県立大学  
編集委員会編 『創る×まち 育てる×ひと——地域創造と大学』

<資料>平成29年度離島振興関係国家予算政府原案

(2) 『2015 離島統計年報 CD-ROM版』の編集・刊行

離島振興法をはじめ全国の法指定離島の基本的な統計資料を体系的に収録した『2015  
離島統計年報』CD-ROM版を刊行した。

1) 規格及び部数 CD-ROM Windows版(PDF及びEXCELファイルを  
収録) 500枚

2) 内 容

- ①図表で見る島の動き ②概 要 ③人口動態 ④教 育 ⑤農林水産業生産額
- ⑥観光・自然公園 ⑦道路・車両 ⑧港湾・航路 ⑨空港・航空路 ⑩医療 ⑪水道
- ⑫廃棄物・下水処理

(3) 日本の島ガイド『SHIMADAS（シマダス）』の編集

日本全国の有人島を中心に、人口・面積などの基礎データ、交通、観光、生活、ひと、  
島おこし事業などの情報を掲載する同書の一部編集を実施した。

## 5. イベント

- (1) 「アイランダー2016」への開催協力  
昨年度に引き続き、国土交通省と共催で、離島の交流推進支援調査事業の一環として、「アイランダー2016」を次のとおり実施した。
- ① 日 時 平成28年11月26日(土)～27日(日)
  - ② 場 所 東京・池袋サンシャインシティ 文化会館3階 展示ホールC
  - ③ 内 容
    - 1) 島のブース  
島のスタッフと来場者のコミュニケーションゾーン  
23都道県から79ブース(約200島)が出展
    - 2) ステージイベント
      - ① オープニングライブ(八丈太鼓)
      - ② アイランダーステージ(島の伝統芸能披露、島のPRほか)
      - ③ しまステーション(来場者との会話型プログラム、島と島をつなぐ企画ほか)
    - 3) 島の伝統工芸体験&ワークショップ  
各ブース内で島の工芸体験、ワークショップを展開
    - 4) ハローワークコーナー  
ハローワークの職員が来場者からの求職相談に対応し、島にある求人情報を紹介
    - 5) しまマルシェ  
今年度新設した島の特産品販売を専門としたコーナー  
賑わい創出のため、島のブースとは別の場所に設定した  
17都道県から39ブースが出展
    - 6) 島の情報提供コーナー  
エントランスで、島の体験メニューや住宅など島暮らし情報を提供するコーナー
    - 7) 島のグルメ食堂  
3台の移動キッチンカーにより各地の名物料理を提供
    - 8) 定住・交流相談  
島ブース内及び同特設スペースにおいて開設
    - 9) パネル展示コーナー  
本財団が選定した「しま山100選」のパネル展示を行った  
あわせて100選の選定結果をアイランダーステージで公表した
    - 10) 「島の特産品」プレゼントコーナー  
来場者アンケート回答者を対象とした景品抽選コーナー
    - 11) 島外出展ブース  
「島」「海」「旅」「地方へのUIターン」などアイランダーに関わるメディア等の  
出展ブース(6団体が出展)
  - ④ 来場者数 13,914人(2日間合計)

## (2) しまづくりキャラバン

平成28年度は「しまづくりキャラバン」を次のとおり実施した。

島で生産された特産品・物産品などの販路開拓を目的に、「九州外食ビジネスウィーク2016」へ出展した。

- ① 日 時 平成28年11月15日(火)～17日(木)
- ② 場 所 福岡県福岡市「マリンメッセ福岡」
- ③ 出展団体 兵庫県南あわじ市 「NPO 淡路国プロジェクト」  
島根県西ノ島町 「(株)日本海隠岐活魚倶楽部」  
愛媛県上島町 「NPO 法人豊かな食の島岩城農村塾」  
愛媛県松山市 「坂の上の雲まちづくりチーム」  
福岡県福岡市 「福岡市漁業協同組合小呂島支所」  
長崎県壱岐市 「一般社団法人 壱岐市観光連盟」  
長崎県新上五島町 「有川町漁業協同組合」「五島手延うどん協同組合」
- ④ 内 容 「九州居酒屋産業展」エリアに「島の逸品」ブースとして出展し、居酒屋のメニューと相性のよい各島の産品を、九州地方をはじめとした居酒屋経営者等の来場者に情報発信などマーケティングをおこなった。上記市町村から出展する各島でつくられた産品を使用したメニューの導入など販路拡大に取り組んだ。
- ⑤ 来場者数 11,438人(九州外食ビジネスウィーク2016全体)

## (3) イベント等に対する後援

平成28年度は、次の事業に対し支援・後援した。

- ① 第9回粟島クリーンアップ作戦  
主 催：粟島クリーンアップ作戦実行委員会  
月 日：平成28年6月19日(日)  
場 所：新潟県粟島浦村
- ② 種子島安納いもサミット2016  
主 催：西之表市にぎわい創出実行委員会  
月 日：平成28年7月16日(土)～8月17日(水)  
場 所：鹿児島県西之表市
- ③ 国土交通大臣杯第9回全国離島交流中学生野球大会  
主 催：国土交通大臣杯第9回全国離島交流中学生野球大会実行委員会  
月 日：平成28年8月22日(月)～26日(金)  
場 所：島根県隠岐の島町
- ④ 第48回山口県離島青年会議 in 大島  
主 催：山口県離島青年会議大島実行委員会  
月 日：平成28年8月27日(土)  
場 所：山口県萩市 大島
- ⑤ 大学COC事業・シンポジウム2016「離島における教育の充実」  
主 催：広島商船高等専門学校  
月 日：平成28年9月3日(土)  
場 所：広島県大崎上島町
- ⑥ 離島振興・災害医療米国視察  
主 催：離島振興・災害医療米国視察団

月 日：平成 28 年 9 月 18 日（日）～26 日（月）  
場 所：アメリカ合衆国各地

- ⑦ 第 1 4 回海ごみサミット 2016 三重会議  
主 催：一般社団法人 JEAN  
月 日：平成 28 年 10 月 28 日（金）～30 日（日）  
場 所：三重県伊勢市・鳥羽市答志島
- ⑧ 第 10 回トカラ列島島めぐりマラソン大会  
主 催：鹿児島県十島村  
月 日：平成 28 年 10 月 28 日（金）～30 日（日）  
場 所：鹿児島県十島村 宝島
- ⑨ 大学 COC 事業・成果報告会  
主 催：広島商船高等専門学校  
月 日：平成 29 年 3 月 11 日（土）  
場 所：広島県大崎上島町
- ⑩ われは海の子 2 0 1 6 / われは海の子フォーラム  
主 催：NPO 海のくに・日本  
月 日：平成 29 年 3 月 18 日（土）  
場 所：東京都新宿区
- ⑪ 第 2 4 期「緑のふるさと協力隊」事業  
主 催：特定非営利活動法人 地球緑化センター  
月 日：平成 28 年 7 月 1 日（金）～平成 29 年 3 月 31 日（金）※参加者募集期間

## 6. 情報化推進

本財団 Web サイト「しましまネット」を、公益財団法人にふさわしい離島の情報発信ツールとするとともに、幅広いリンクを通じて地域間の交流促進に寄与する運用をした。あわせて Facebook による情報発信を行った。

「しましまネット」の活用による主な情報発信は以下のとおりである。

- (1) 「島について調べる—情報検索—」ページ  
会員市町村から情報提供のあったイベント、求人、移住・留学情報等を一覧、検索できる。
- (2) 発刊した出版物の情報を更新
  - 1) 季刊『しま』の最新号およびバックナンバー
  - 2) 『2 0 1 5 離島統計年報』
- (3) 「しま山 1 0 0 選」など本財団実施事業の情報を追加・更新
- (4) 会員市町村専用ページのコンテンツ
  - 1) 情報提供入力フォーム  
会員市町村が直接しましまネットへ「イベント、求人、移住・留学情報」等を掲載
  - 2) 各種名簿
  - 3) 行事カレンダー
  - 4) 「離島情報」
- (5) 公益法人情報公開規程に即した公告を掲載

## 7. 離島人材育成基金助成事業

離島住民の自主的な住民活動を支援し、新しい活力ある離島の実現に必要な人材の育成を図ることを目的として設置した「離島人材育成基金」の運用益による助成事業等を実施する。

平成28年度は24事業に助成を行った。

都道県	市町村	事業名	事業主体
北海道	利尻町	利尻島農業再生・体験農場経営スタッフ育成事業	特定非営利活動法人利尻ふる里・島づくりセンター
宮城県	気仙沼市	離島への架橋先進地における地域振興（島興し）の在り方等の視察*	ずずっこばっここの会
宮城県	気仙沼市	気仙沼大島で無農薬果物を特産品とする人材育成事業	アイランド・明日の会
山形県	酒田市	飛島だし宣言！プロジェクト	飛島だし宣言！プロジェクトチーム
新潟県	佐渡市	【学校蔵の特別事業】佐渡から考える日本の未来～世界とつながる。地方で起業。	個人
三重県	鳥羽市	漁村と都市高齢者の結（ゆい）づくり事業	漁村と都市高齢者の結（ゆい）づくりチーム
兵庫県	南あわじ市	てとてで 作る手しごと創造プロジェクト	島じかん てとて 創造プロジェクト
山口県	萩市	離島地域情報発信事業	山口県離島青年会議 in 大島実行委員会
香川県	三豊市	粟島・志々島“島の案内人”養成事業	特定非営利活動法人まちづくり推進隊詫間
愛媛県	宇和島市	シーボーンアート&海岸清掃推進事業	特定非営利活動法人元気島プロジェクト
福岡県	福岡市	小呂島の売り込みプランナー育成事業	小呂島しまづくり協議会
佐賀県	唐津市	松島の島おこしのための「ふんどしわかめ」の商品開発事業	松島の海（漁業）を守る会
長崎県	平戸市	大島村特産品開発事業	大島地区まちづくり運営協議会
長崎県	平戸市	度島まちづくり塾 ふれあい観光・交流事業	特定非営利活動法人度島地区まちづくり運営協議会
鹿児島県	三島村	新鮮な奇跡の大名筍を全国へ届けるための視察研修事業*	特定非営利活動法人みしまですよ

都道県	市町村	事業名	事業主体
鹿児島県	十島村	機音の島プロジェクト	機音の島プロジェクト
鹿児島県	奄美市	水産資源を活用した笠利ご当地井開発事業	奄美漁業協同組合
鹿児島県	瀬戸内町	地域のよさを生かし、人を育む「まちづくり委員会」推進事業～地域の“ひと、もの、こと”を見通し、生かすまちづくり～	地縁団体「阿木名自治会」
鹿児島県	天城町	島口ミュージカルによる島口の継承と世代を超えた地域交流	天城町連合青年団
鹿児島県	伊仙町	集落組織と連携した島暮らし体験プログラムづくり事業	特定非営利活動法人いせん 1・1
鹿児島県	与論町	Woogie Wonderland Championship	個人
沖縄県	伊是名村	「島塾」～風の学び土の学び～（地域に学ぶ人材育成塾）キックオフ事業	特定非営利活動法人 島の風
合計		14 道県 20 市町村 22 事業	

\* 視察研修型事業

(研究助成型事業)

都道県	市町村	事業名	事業主体
鹿児島県	三島村	離島における「多業化」「内製化」による雇用対策の可能性に関する調査研究	個人
合計		1 県 1 村 1 事業	

(活動助成型事業)

都道県	市町村	事業名	事業主体
長崎県	五島市	『18歳からの五島の教科書』編纂にかかる企画調査事業	九州工業大学工学部徳田光弘建築計画研究室
合計		1 県 1 市 1 事業	

## 8. 離島の観光・物産等振興宣伝活動助成金事業

離島産業の活性化のため、本土・都市部のイベントや展示会等に離島住民・団体自ら出展・実施する観光振興・物産振興などの宣伝活動に対し助成事業等を実施する。

平成28年度は以下の事業に助成した。

都道県名	市町村名	事業名	事業主体
北海道	利尻富士町	第7回なまらうまいっしょ！グランプリ参加	利尻富士町応援大使事業実行委員会
北海道	羽幌町	天売観光物産振興事業	天売島おらが島活性化協議会
新潟県	粟島浦村	ツーリズムエキスポジャパン出展	あわしま自然体験学校
新潟県	佐渡市	上越オクトーバーフェス佐渡PR事業	佐渡青年会議所
愛知県	南知多町	名古屋城での篠島PR事業	篠島観光協会
三重県	鳥羽市	東京都庁全国観光PR出展	全国離島振興鳥羽協議会
島根県	西ノ島町	物産と観光キャラバン	西ノ島観光協会
広島県	三原市	広島フードフェスティバル	元気さぎしま物産部会
山口県	萩市	第12回萩ふるさと祭り出展	萩諸島連絡協議会
香川県	小豆島町	かがわ島フェスタ2016	小豆島オリーブ公園
香川県	土庄町	かがわ島フェスタ2016	小豆島とのしょう観光協会
香川県	高松市	かがわ島フェスタ2016	女木地区コミュニティ協議会 男木地区コミュニティ協議会
香川県	多度津町	かがわ島フェスタ2016	アイラブ高見島
愛媛県	八幡浜市	えひめ愛らんどマルシェ2016	チーム大島
山口県	周防大島町	離島フェア出展事業	周防大島観光協会
鹿児島県	中種子町	第12回関西かごしまファンデー大会	中種子町特産品協会
沖縄県	南城市	離島フェア2016出展事業	NPO法人久高島振興会
合 計		12道県 17市町村	17事業

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 29 年 5 月  
公益財団法人 日本離島センター